

北海道教育大学南ユタ大学短期プログラム帰国報告書
函館校 国際協働グループ 二年 山道一慧

私は8月28日から9月17日の約3週間アメリカ・ユタ州の南ユタ大学で短期プログラムを行ってきました。今年は函館校・札幌校・旭川校から計14人で参加してきました。

<準備>

行くまでに沢山の準備がありました。海外送金や英語での書類書きなど普段行わないような事が続き戸惑ってしまいましたが、学務の方々に丁寧な対応をしていただくことで無事に行く事ができました。また、事前に三校同時の説明会を設けて貰いみんな確認できたので安心して行けました。持ち物は生活用品と洋服を4、5枚持って行きました。南ユタは日中と朝・夜の気温の差が激しいのでパーカーは役に立ちました。大学内も冷房が効いているので外を歩く以外は暑くはありませんでした。またホームステイ先に日本からのお土産を幾つか持って行くと会話のたねになるので是非持って行ってください。

<現地での様子>

新千歳空港から韓国の仁川空港へ、そしてラスベガスのマッカラン空港へと長いフライトから南ユタまで車で移動し、やっとホストファミリーと会うことができました。長旅で疲れていたため、その日はすぐに寝てしまいました。

大学では9時から17時まで過ごし、午前中はESLという英語学習を行い、午後はプレゼンテーションや大学の授業を外国人と受けて意見交換をしたり、ビデオブログを作成したりしました。ESLの授業は、アイスブレイキングやブライスキャニオンについて調べたり、簡単なゲームで遊びました。アメリカの小・中学生向けの授業内容を私たちにしてくれたので、教育における文化の違いも学ぶことができました。最終日には、ブライスキャニオンと北海道の国立公園を比較したプレゼンテーションを他のESLの外国人に発表しました。このプレゼンは個人での発表だったので、プレゼン後の質疑応答で簡単な会話をする事ができたため楽しかったです。アメリカ以外から来ている学生が沢山居て相手の出身地や生活の様子などを聞いている時は驚きの連続でした。このプロジェクトではプレゼンテーションの場が多く一人でプレゼンをする機会もあったため、パソコンは持参するのを勧めます。午後は、様々なアクティビティがあり沢山の経験をする事ができました。私の思い出は、大学生に自分から話しかけて質問をするアクティビティです。最初は声をかけることすら戸惑っていましたが相手側から話しかけてきてくれ、親切な方々ばかりで心が熱くなりました。だんだんと慣れていくうちにどんどん会話が弾み、楽しい時間を過ごすことができました。また、最後にみんなそれぞれが作ったビデオブログの発表会も印象に残っています。ホストファミリーに向けての感謝のメッセージやホストファミリーとの思い出話、そして今回このプロジェクトに参加したメンバーに向けたメッセージなどみんなの個性が詰まった

動画で面白かったです。

また大学の中を歩いているとき、すれ違う人たちが微笑みかけてくれたり、Hi と声をかけてくれたりする人がいて素敵な文化だと感じました。日本とはまた異なる雰囲気、心が穏やかになる場所です。



外国人インタビュー

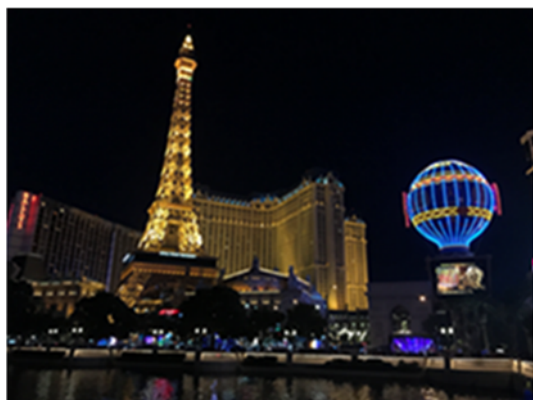


ブライスカニオン

<ホームステイ>

私は3年生の先輩と同じホームステイ先で、子どもが4人居る暖かな家庭にお世話になりました。朝ご飯は食べたいものを自分たちで用意して食べ、お昼は家からサンドイッチやフルーツ、お菓子を持って行きました。また、学校にはピザやハンバーガーなど売っているので本場の味も楽しめる事ができます。夜ご飯は、ホストマザーがご飯を作ってくれたり日本料理が食べられるNINJYA レストランに連れて行ってもらいました。ホストマザーが作ってくれるご飯はとても美味しかったです。時々、ご飯を炊いてくれたので健康的な食事も取ることができました。また、休日は教会に行きお祈りの様子を見たり、親戚の家に集まってご飯を食べたりしました。教会では歌を歌ったり、演説を聞いたり新しい発見ばかりでした。また私がお世話になった家族は夕食を食べる前に家族みんなでテーブルに集まり、腕を胸の前に組みながら頭を下げお祈りをしていました。家族の代表一人が今の心境や何を思っているのかを唱えていました。私もホストファミリーと同じような姿勢で、唱えている英語を聞いていました。ユタ州はモルモン教でお酒やお茶を飲まないという宗教です。日本人にとって宗教と生活が深く結びついていませんが、外国では生活と宗教が深く結びついていることがよく分かりました。世界には様々な宗教がありますが、一つの宗教概念を学ぶ良い機会となりました。また、ホストファミリーにショットガンを体験できる場所に連れて行って貰ったり、ホストファミリーの子どもたちが参加していたリトルマーメイドの演劇を見に行ったりしました。ショッピングに行きたいとホストファミリーに伝えたらラスベガスや近くのお店に連れて行ってくれました。ラスベガスの様子はとても賑やかで歩いているだけで楽しかったです。また、私のホームステイ先には小さい子どもたちが居たので、学校が終わり家に帰ってきた後や休日はよく遊びました。外国のボードゲームやTWISTER、鬼ごっこなどで遊び子どもたちと一緒に楽しみました。私のつたない英語でも子供たちから会話してく

れるのが嬉しかったです。日本では体験できないことを沢山することができこれらの経験は私の宝物です。



ラスベガス



TWISTER GAME

<最後に>

このプログラムに参加して、沢山の経験をしたことからアメリカの文化について学ぶことができました。南ユタは住みやすく、優しい人柄の人ばかりです。もう一度訪れたいと思う場所でした。私は英語を話すことが全然できず、授業の説明を聞いている時も大変でした。ですが、ホストファミリーとの会話や授業を受けているうちに耳が慣れて聞き取れるようになっていきました。また、私の片言な英語でも相手が理解しようとしてくみ取ってくれたので嬉しかったです。もっと英語を勉強し、会話もスムーズにできるようになりたいと思う留学でした。これらの経験から次に活かそうと思います。このメンバーでこのプログラムに参加できて良かったと思っています。英語だけではなく文化の違いも学べて様々なことを経験できます。もし興味を持っている方は是非参加してみてください。